令和8年度CASBEE届出建築物（高砂市受付分）

受付番号	建 築 物 名 称	建築用途	建 設 地	構 造 階 数 工事種別	工事完了予定日	評 価 結 果
8-1	CIP化粧品原料工場	工場	高砂市梅井5丁目	S造 地上2F 新築	2028年3月	B-
8-2	サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 第三期 増設工事 生産棟 （受付番号：6-2 変更届）	工場	高砂市荒井町新浜	S造 地上3F 増築	2026年11月	B+

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要

建物名称	CIP化粧品原料工場	階数	地上2F
建設地	兵庫県高砂市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域の指定なし	平均居住人員	25 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,548 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月　予定	評価の実施日	2026年6月2日
敷地面積	36,041 ㎡	作成者	山川 雅也
建築面積	1,776 ㎡	確認日	2026年6月2日
延床面積	3,268 ㎡	確認者	小島 薫

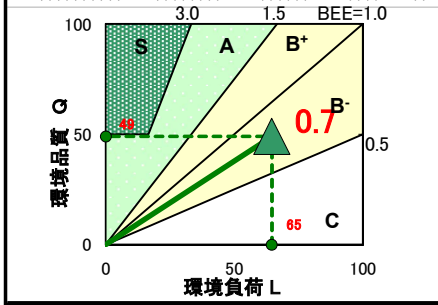
1-2 外観



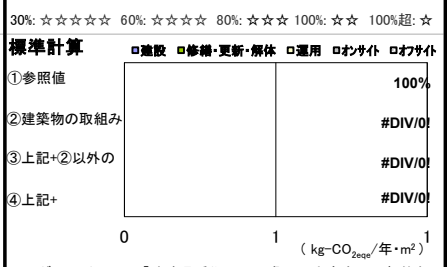
2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

BEE =0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

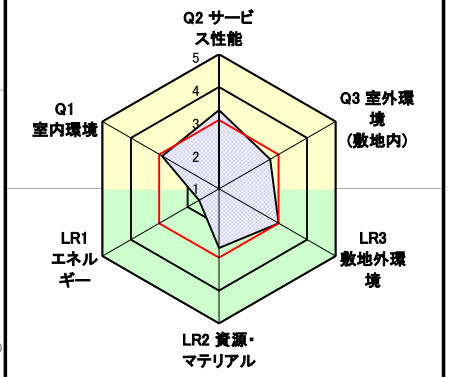


2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響ﾁｬｰﾄ)



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

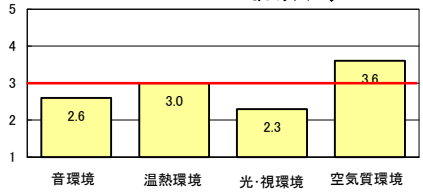
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



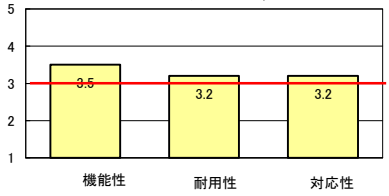
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.9

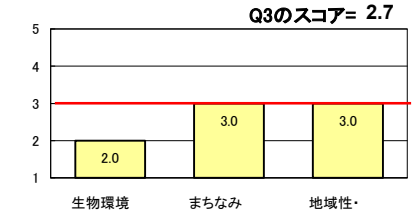
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3



Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.7

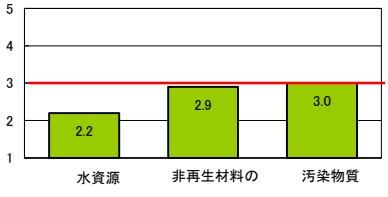


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 2.4

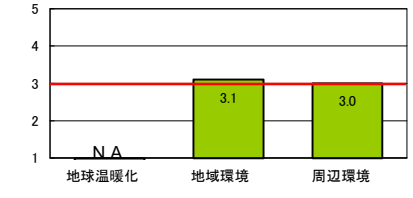
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 1.6



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.0



3 設計上の配慮事項

総合

本計画は既存の工場敷地に新たな生産工場を増築する計画であるため、敷地内の既存棟との調和を図った。また、新棟ができることによる周辺環境への影響も最小限となるよう努めた。

その他

0

Q1 室内環境

採光について、施設の特性上、窓からの採光が得られないため、照明計画を綿密に行い、利用しやすい室内環境となるよう努めた。

Q2 サービス性能

将来的に維持管理がしやすいよう、材料の選定や部材の構造に配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内の有効スペースに可能な限り植栽を設けるよう努めた。

LR1 エネルギー

設計段階から発注者と詳細な打合せを行うことで、発注者の要望を正確にくみ取り、可能な限り実現できるように努めた。

LR2 資源・マテリアル

環境に配慮した材料選定に努めた。

LR3 敷地外環境

日影や屋外照明など周辺に影響を及ぼさないよう努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築（新築）　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要

建物名称	サントリープロダクツ（株）高砂工場	階数	地上3F
建設地	兵庫県高砂市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200 時間/年（想定値）
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月　予定	評価の実施日	2026年7月22日
敷地面積	149,998 ㎡	作成者	楠 敦士
建築面積	8,855 ㎡	確認日	2026年7月22日
延床面積	10,726 ㎡	確認者	楠 敦士

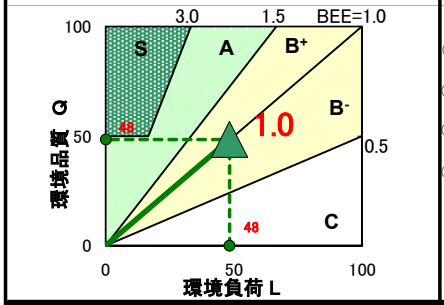
1-2 外観



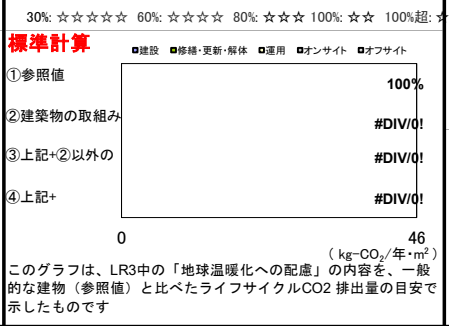
2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

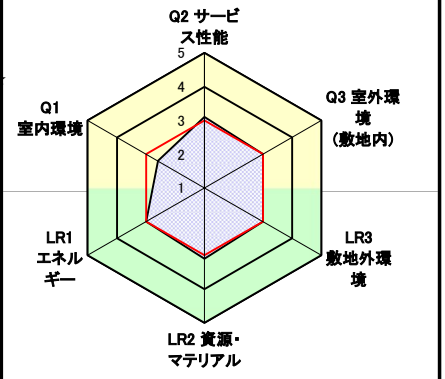


2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

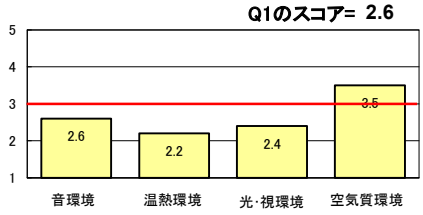
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



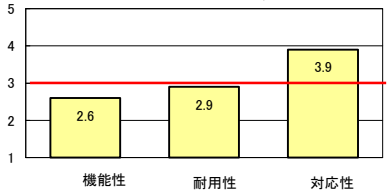
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

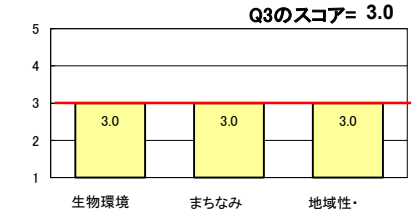
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

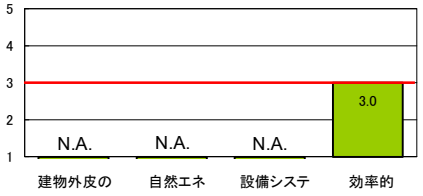


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.0

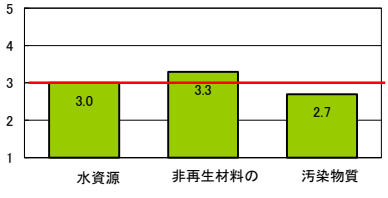


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

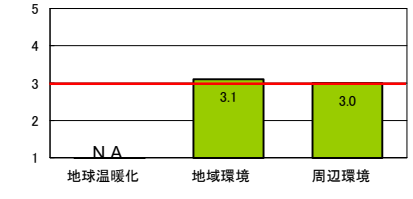
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.0



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.0



3 設計上の配慮事項

総合

その他

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

食品工場であることから、維持管理には防虫防鳥対策をはじめ、外部からの出入口はインターロック制御の前室を計画するなど特に配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

将来の機器更新や増築、解体等に配慮し、間仕切壁は乾式としている。

LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される